

観光で鹿児島市を元気に！

訪れる人の感動・暮らす人の幸せをつくる“稼ぐ観光”の実現
～ 世界を魅了するまち KAGOSHIMA ～

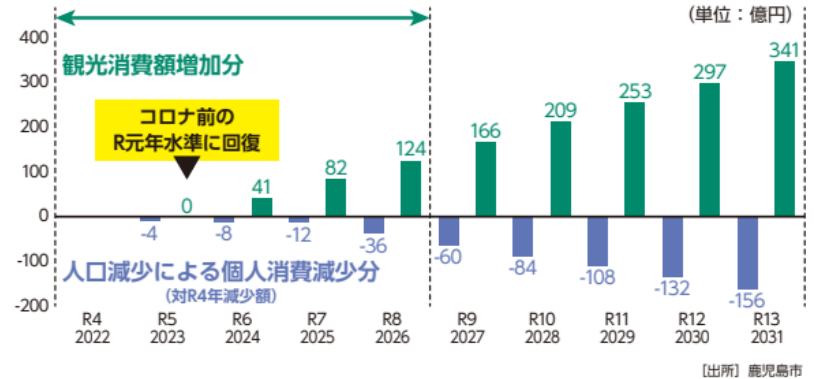
人口減少・少子高齢化が進む中、交流人口の拡大は、地域の活力の維持・拡大に不可欠です。鹿児島市は、旅行者を魅了する素晴らしい自然、個性ある歴史・文化、自然と文化の特徴が融合した食などが揃っており、また交通結節点でもあることから、観光都市として発展してきました。

ここでは、観光の効果の最大化のための考え方や、暮らしや経済などにどのように関わっているかについて紹介します。



観光に注力する背景

- 人口減少に伴い個人消費が減少する見通し
- 個人消費の減少分を上回る観光消費額増の創造が重要**



観光の効果を最大化するためには

経済波及効果とは？

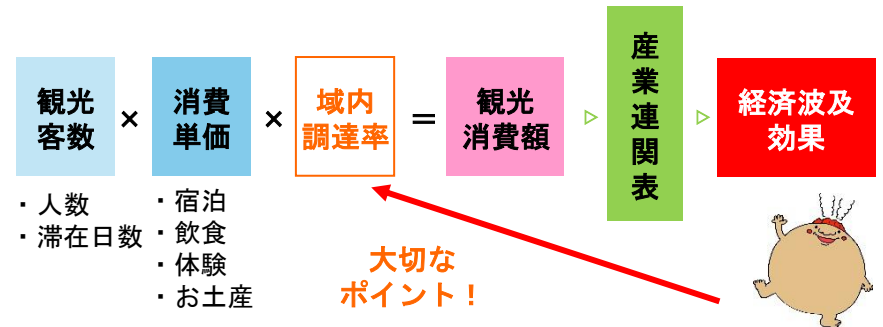
- ある産業に新たな需要が生じ、その需要に対応する生産活動が拡大すると、原材料や資材などの取引や消費活動を通じ、他の産業に次々と、水面に投げた石が波紋を起こすように他方面へ影響を及ぼす、この過程のことを**経済波及効果**といいます。
- 観光は関連する産業のすそ野が広い、経済波及効果が高い産業です。



【出所】総務省データサイエンス・スクール

経済波及効果最大化のための考え方

- 観光客数（＝量）に消費単価（＝質）を掛け合わせて観光消費額が算出されますが、その際に域内調達率が大きく作用します。
- そのため、**より域内から原材料を仕入れ、地域経済循環を高めることが重要**です。



DMO KAGOSHIMA
公益財団法人 鹿児島観光コンベンション協会

☎ 099-286-4700

✉ dmo@kcvb.onmicrosoft.com

観光のチカラ

経済への寄与

観光客が市内で使った金額

1,495億円

市民の年間消費支出の
約12.5万人分（約21%）
に相当



[出所]鹿児島市DMO戦略

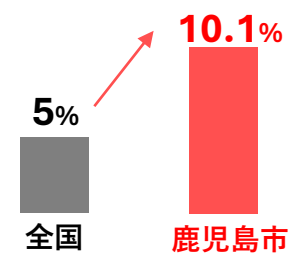
観光客の消費
や観光産業は
鹿児島市の
経済を支えて
います!



観光が産業に占める割合

10.1%

全国の割合を比較すると
約2.2倍



[出所]鹿児島市統計書（鹿児島市）
私たちの暮らしと京都観光（京都市）

市民の利便性向上への貢献

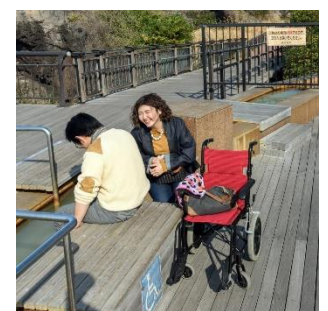
公共交通の維持や社会インフラの整備

九州新幹線

バリアフリーの推進



博多/大阪が近くに



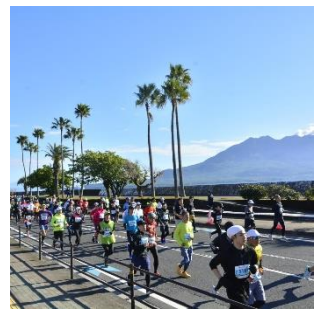
足湯の車いすエリア

イベントの経済効果(例:鹿児島マラソン2024)

出走者数

約9千500人

(フルマラソン+ファンラン)



[出所]鹿児島市による算出

経済波及効果

約12億8,984万円

域内調達率
が高いと
経済効果
もupします!

実行委員会
予算額

約3億4,293万円

観光消費額

約9億1,733万円

約1.4倍

経済波及効果

約12億8,984万円



私たちが地元を楽しむことで、
鹿児島がより元気に！

私たちの行動で域内調達率が高まります

例えば...

- 地元の魅力を発見しよう！
⇒ 桜島を探検、ガイドツアーに参加
- 地元の新鮮な食材を使った食事を楽しもう！
⇒ 地消地産の店舗を選ぶ、産地を意識して購入

